

射水市の在宅医療・介護連携における課題

<高齢者を取りまく現状>

- ・ 高齢化率の上昇、後期高齢者の急激な増加
- ・ 医療ニーズの高い要介護者、認知症高齢者の増加
- ・ 高齢者のみ世帯、独居高齢者世帯の増加
- ・ 生産年齢人口が減少、介護の担い手不足
- ・ 家族機能の拡散

在宅医療・介護
ニーズの増加

在宅で最期を迎え
たい高齢者が多い

本人や家族を支援する
職種の増加や支援内容
の多様化

多職種連携の必要性

情報不足による在宅
医療・介護への不安

家族の介護力を高め
る支援が必要

**ひとりひとりの状態
に応じた最適な医療
と介護を継続的、包
括的に提供できる
体制の推進**

- ・ 在宅訪問診療、訪問看護ステーションの充実（24時間体制や夜間急変時の対応などの検討）
- ・ 在宅療養支援病院の体制強化、医療機関間の連携体制の構築
- ・ 訪問歯科診療や口腔ケアによる在宅療養支援
- ・ 薬剤師の在宅療養支援
- ・ 医療や介護関係者の医療介護知識の向上、専門的な研修の実施
- ・ 多問題家族（介護者不在や経済不安などの問題を抱える人）への支援体制の強化

**顔の見える関係を
目指した多職種ネット
ワーク体制の強化と
情報共有の推進**

- ・ 本人の自立支援型ケアマネジメントの実施
- ・ 本人中心の医療や介護を提供するため、情報共有ツールの活用
診療情報提供書
入院時情報提供書
認知症情報共有ツール
連携ノート
退院調整ルール
- ・ 入院早期からの退院調整や退院時カンファレンスの実施強化
- ・ 在宅医療・介護連携支援相談窓口の設置（H29）

**住み慣れた地域で自分
らしい生活を送るため
の住民への普及啓発**

- ・ かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬剤師を持つことの普及
- ・ 在宅での看取りや介護の様々なあり方についての住民意識の向上
- ・ 地域包括支援センターなどの高齢者や介護家族が気軽に相談できる窓口の周知
- ・ 住民同士の支え合いネットワークの構築・支援の強化

認知症対策

介護予防・日常生活支援総合事業